

令和4年度 子ども音楽大学いるま

1 実施体制

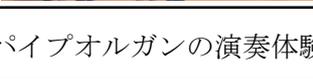
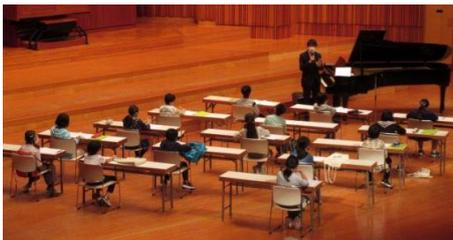
子ども音楽大学いるま	学長	加藤 徹也（武蔵野音楽大学音楽教育コース責任者）
	副学長	中田 一平（入間市教育委員会教育長）
子ども音楽大学いるま実行委員会	実行委員長	重松 聡（武蔵野音楽大学演奏部長）
	実行委員 （関係団体）	武蔵野音楽大学、入間市教育委員会

2 事業内容

開催期間	令和4年10月1日～令和4年10月16日			
参加者数等	定員	16名	応募者数	15名
	参加者数	4年4名	修了者数	4年4名
		5年10名		5年10名
		6年1名		6年1名

3 実施内容

パイプオルガン 作曲	1日目	開催日時	10月1日（土） 13:00～16:05	 <p>メロディーの誕生を学びます！</p>  <p>パイプオルガンのクイズに挑戦</p>
		会場	武蔵野音楽大学 入間キャンパス	
		講義名	①「メロディーってどうして生まれたんだろう？」 ②「パイプオルガンってどんな楽器？」	
		講師	①武蔵野音楽大学講師 伊東 光介 先生 ②日本オルガニスト協会会員 秋本 奈美 先生	

2日目	開催日時	10月10日(月・祝) 13:00~16:00		
楽器	会場	武蔵野音楽大学 江古田キャンパス		
	講義名	①「楽器の製作と音出し」 ②ワークショップ「楽器の中の生きものたち」 ③楽器ミュージアムの見学		<p>インドの民族楽器を製作</p>
	講師	①武蔵野音楽大学専任講師 守重 信郎 ②武蔵野音楽大学講師 脇谷 真弓		
3日目	開催日時	10月16日(日) 13:00~16:05		
パイプオルガン 作曲	会場	武蔵野音楽大学 入間キャンパス		
	講義名	①「パイプオルガンってどんな楽器？」 ②「メロディーを作曲してみよう♪」		<p>パイプオルガンの演奏体験</p>
	講師	①日本オルガニスト協会会員 秋本 奈美 ②武蔵野音楽大学講師 伊東 光介		
			<p>作曲のしくみ発見!</p>	

4 新型コロナウイルス感染症対策（工夫した点や苦慮した点など）

- ・参加者の受付時に検温の実施と手指消毒の協力の呼びかけを行った。
- ・会場の密を避けるため、定員を例年の30名から、定員16名に縮小して募集を行った。
- ・全講義を午後に実施。入学式及び修了式は、時間を短縮して行った。修了証書は、代表者1名の授与とし、終了後に参加者へ配布した。
- ・密を避けるため、グループ分けを行った。
- ・ホール会場では、座席間のディスタンスをとっていただくようお願いをし、パイプオルガンの演奏体験前は、手指消毒を行った。

5 参加者の声

参加した子供の声 (感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の名前やことばがメロディーになるというのがすごいと思いました。ドレミファソラシドも和音をつけるだけでキレイな音色になることを初めて知りました。(メロディー)</li> <li>・パイプオルガンは、ピアノやリコーダー、クラリネットなどの楽器と違い、けんぱんの太さや「ストップ」の数が決められていないことにびっくりした。ピアノだけでなく、パイプオルガンでも、いろんな曲をひきたいと思った。(パイプオルガン)</li> <li>・今まで楽器を作った事がなかったので、「上手くできるかな」と不安だったけれど、楽器が完成して演奏してみたら、意外と上手く弾けたので良かったです。また、初心者の自分でも、気軽に作れると知り、少しうれしかったです。(楽器の製作)</li> <li>・楽器の中の生き物を探すのが楽しかったです。楽器が作られた地域では、その楽器の中の生き物にたくさんの意味があることを知り、興味を持ちました。(ワークショップ)</li> <li>・楽器ミュージアムはたくさんの楽器があり、歴史にもびっくりしました。もっといろんな音楽や楽器の歴史を学びたいくなりました。(楽器ミュージアム)</li> <li>・初めて大きなパイプオルガンを弾き、思ったより音が大きくてびっくりしました。先生の演奏が素晴らしかったです。(パイプオルガン)</li> <li>・曲には色んな仕掛けや組み合わせがあることを知りました。曲を弾く時は、どんな仕組みやリズムがあるのか探してみたいです。(作曲)</li> </ul>
保護者の声 (感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の貴重な講座は大変勉強になりました。楽器を触ったことがない子でも参加できて良かったです。コロナ禍でなくても今回くらいの人数が良いと思います。</li> <li>・初めて参加しましたが、小学校では体験できない貴重な体験をたくさん学べて有意義な時間でした。特に江古田の博物館では、多くの楽器を見ることができ、親子で楽しめました。大学の専門的な講義で興味深く学べました。</li> <li>・1日目のメロディーの生まれ方の話や自分の名前をメロディーに出来る事を知り、また和音の話も興味深かったです。パイプオルガンは、普段目にする事がないので、弾く体験ができ、とても貴重な体験をさせて頂きました。2日目は、楽器の製作や色んな国の楽器を見学し、親子でとても楽しい時間でした。</li> </ul>